

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29 年 6 月14日

計画の名称	白市地区街なみ環境整備計画		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	東広島市
計画の目標			

国の重要文化財である旧木原家住宅に代表される白市地区において、伝統的建築物等の景観資源を保全・活用することにより、良好な歴史的まちなみ及び生活環境の整備充実を図ること。

## 計画の成果目標（定量的指標）

- ・地区内において小公園を整備し、憩いと災害時の避難場所の拠点となるスペースを確保する。（整備面積 合計600㎡）
- ・道路の美化化を行い景観性の向上を図り、また美化化により平坦性が確保され歩きやすい道路となり高齢者等歩行者の安全性を向上させる。（L=1,700m）
- ・旧木原家住宅の年間入館者数の約2,152人を維持する。（H22時点での入場者数を2,150人とする）

## 定量的指標の定義及び算定式

- ① 整備事業区域にある公園の現況調査等のデータや事業実施状況をもとに算出する。  
公園整備率（%）＝公園整備にる安全性の確保された面積（㎡）/整備目標面積（㎡）
- ② 道路美化化の進捗状況により算出  
整備率（%）＝整備延長（m）/整備事業総延長（m）
- ③ 旧木原家住宅の年間入館者数から算出する。  
H22現在に対する入場者数の減少率（%）＝評価時の入場者数（人）/H22現在に対する入場者数（人）

## 定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)
40%	—	100.0%
20.6%	—	100.0%
100.0%	100.0%	100.0%

備考

全体事業費	合計 (A+B+C)	87百万円	A	87百万円	B		C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)
-------	---------------	-------	---	-------	---	--	---	---------------------------

## 事後評価（中間評価）

### ○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
東広島市都市整備課において実施	平成28年度（事業終了後）
	公表の方法
	市ホームページにより公表

### 1. 交付対象事業の進捗状況

#### 交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	住宅	一般	東広島市	直接	東広島市	—	—	白市地区街なみ環境整備事業	生活環境施設1ヶ所等	東広島市						87	
合計																87	

#### B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

#### C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の美装化により歴史的な街なみ景観と調和し、住民の日常生活や来訪者の街なみ散策など、安全性・快適性が向上した。</li> <li>・小公園及び交流施設の整備により地域の交流拠点及びくつろぎの場、並びに来訪者のおもてなし、情報発信の場を確保できた。</li> <li>・誘導板・案内板の設置や道路の美装化、交流施設の整備を行ったことにより、来訪者の遊覧性が向上し旧木原家住宅入館者数維持に貢献できた。</li> </ul>		
II 定量的指標の達成状況	指標①（整備事業区域内の公園整備率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因 公園を整備する用地の確保ができなかったため、目標値の達成に至らなかった。
		最終実績値	40.0%	
	指標②（道路美装化整備率）	最終目標値	100.0% (L=1,700m)	目標値と実績値に差が出た要因 目標値どおりの実績値を達成することができた。
		最終実績値	100.0% (L=1,700m)	
	指標③（旧木原家住宅の年間入場者数）	最終目標値	100.0% (2,150人)	目標値と実績値に差が出た要因 案内看板の設置や道路の美装化、生活環境施設整備（白市交流会館）等を行った結果、年度ごとにばらつきはあるが平均して僅かながら目標入館者数には届かなかった。若干目標には達しなかったが、環境整備が整ってから間もないので、今後期待ができる。
		最終実績値	89.6% (H23～H28年度平均値)	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業にて制定された「東広島市白市地区景観形成要綱」等を切っ掛けに、地域住民の景観に対する意識の向上に寄与した。</li> <li>・白市交流会館の整備によって、地元住民による「白市景観形成委員会」を中心とした街なみ整備の推進や来訪者へのボランティアガイドなど、地域資源を活用した自主的な活動を展開する拠点となり、歴史・文化を伝える活動や地域交流の活性化に寄与した。</li> </ul>		
3. 特記事項（今後の方針等）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・白市地区における、歴史的な街なみを活かした市民参画による景観形成活動及び、伝統的な建築物などの景観資源の保全・活用を図り環境整備事業の推進を図る。</li> </ul>				

(参考図面) 社会資本総合整備計画

